

2019年6月24日

火力発電所等のボイラーチューブや熱交換チューブの超音波肉厚測定を高速化！

超高回転チューブ内挿式水浸検査装置

「WD tube-edition」を開発しました

超音波を用いた非破壊検査装置及び計測システムの設計・開発メーカーである株式会社計測工業（大阪府堺市 代表取締役 芝彰男）は、高速回転と回転の安定性に優れたセンサ治具を有した、超高回転チューブ内挿式水浸検査装置を開発しました。本装置は高速波形転送技術を用いてチューブ全周の全波形収録を可能とし、検査の高速化、エビデンスの向上に寄与します。

火力発電所の老朽化により、ボイラーチューブや熱交換チューブの内外面に発生する孔食（こうしょく）や減肉部の検査需要が高まる中、高速かつ安定した肉厚データの計測が求められています。

当社では、(独)大阪府立産業技術研究所、大阪府立大学 航空宇宙工学研究室との共同研究により、チューブ内に挿入する計測用タービン治具の高速かつ安定した回転を実現することで、チューブ減肉測定の高速度を実現しました。

また、高分解能A/D (240MHz) を搭載した超音波探傷器を開発し、計測精度を高めるとともに、USB3.0による高速波形転送により、チューブ全周の全波形収録を実現しました。



【回転機構部外観】



【超音波探傷器外観】

計測工業では、超音波技術を用いた非破壊検査を通じて社会インフラの安心・安全に貢献してまいります。

【会社概要】

会社名 株式会社計測工業
代表者 代表取締役 芝 彰男
事業 検査計測機器の受託設計・製作
所在地 大阪府堺市堺区神保通2-12
資本金 1,000万円
創業 2006年

お問い合わせ先

株式会社計測工業 技術開発部 芝 雄大
TEL 072-227-7318
MAIL info@keisoku1.com